

坂井市全天候型子どもの遊び場整備事業
(仮称) 坂井市屋内遊戯施設管理運営業務プロポーザル審査総評

令和7年9月12日

坂井市全天候型子どもの遊び場整備事業
(仮称) 坂井市屋内遊戯施設管理運営業務
プロポーザル審査委員会
委員長 石川 昭義

去る令和7年9月5日に開催した「坂井市全天候型子どもの遊び場整備事業(仮称) 坂井市屋内遊戯施設管理運営業務プロポーザル審査会」等により、審査委員会は当該業務の最優秀提案者を下記のとおり決定しましたので、ここに公表いたします。

記

最優秀提案者 株式会社 ジャクエツ
【 評価得点：503.72点／800点 】

I. 審査経過

1. プロポーザルの公告

令和7年7月22日(火) ～ 令和7年9月5日(金)

2. 参加者

参加者名		所在地
A社	株式会社 ジャクエツ	敦賀市若葉町二丁目1770番地

3. 企画提案図書の審査委員への配付

- ①提出日 令和7年8月22日(金) ※全参加者から提案図書が提出された日
- ②配付日 令和7年8月25日(月)～26日(火)
- ③審査委員 8名(別記名簿参照)
- ④審査方法 参加有資格者から期限までに提出された企画提案図書の副本(会社名等、参加者を特定できる内容は記載されていない)及び採点表を全ての審査

委員に配付した。ヒアリング審査の日までに、各審査委員が書類による提案内容の事前審査を行った。

4. ヒアリング審査

- ①実施日 令和7年9月5日（金）午前9時30分から正午
- ②審査会場 坂井市役所402A・B会議室（参加者控室：404会議室）
- ③審査委員 8名
- ④参加者 企画提案図書提出者 1社
- ⑤審査方法 企業イメージが審査委員の評価に影響を与えないよう、参加者の社名等は伏せて「A社」とした。技術提案図書の内容に基づき、参加者からのプレゼンテーションを15分間、審査委員からの質疑を15分間程度行った。
審査は、職員配置、管理運営・イベント・自主事業に関する提案、危機管理体制の確保等8項目について、5段階の絶対評価により行った。

II. 講評

本プロポーザルは、（仮称）坂井市屋内遊戯施設管理運営業務に係る管理運営者を選定する目的で行われた。今回、プロポーザルへの参加は1社であった。審査にあたっては、「（仮称）坂井市屋内遊戯施設管理運営業務仕様書」等に基づき、提案者は適切な管理運営能力や魅力的な企画力を有するか、危機管理体制を確保しているかなど、審査採点表の評価項目に沿って評価を行った。

提案者は、プロポーザル提案書とプレゼンテーションを通して、「敷居の低い施設を目指す」と表現したように、子どもはもちろんのこと、保護者、高齢者、障がいのある人、中高生、すべての市民に配慮しつつ、安心・安全で快適な環境によって利用しやすい施設運営を目指していることが伝わった。

特に、「プレイ・パートナー」と称する、保育士・教諭等の資格を有するフロアスタッフや「プレイ・アトラクター」と称する職員を配置することで、利用者同士の交流を図りつつ、市民参加型の賑わいを創出しようと考えている点が評価された。また、施設コンセプトである「坂井市でわくわく・ドキドキ」に沿って、地元の団体や企業が参画する特色ある事業が計画されている点も理解された。

提案者は、施設の遊具工事における協力会社でもあり、遊具の安全点検と施設の管理運営を一体的に実施できる点は強みといえる。提案者は、すでに他の自治体の同種施設の管理運営を行っており、各種マニュアルを整備し、管理運営、危機管理等のノウハウも蓄積しているところであるが、管理運営にあたっては、市民の声を取り入れながら実施したいとする姿勢も評価された。

以上のことから、審査委員会は、株式会社ジャクエツを最優秀提案者と決定した。

最後に、熱意と意欲ある提案をした応募者、それを審査いただいた審査委員各位に、感謝と敬意を表したい。

Ⅲ. 審査委員名簿

役職		氏名	選出団体・機関
1	委員長	石川 昭義	仁愛女子短期大学 副学長 (幼児教育学科教授)
2	副委員長	渡辺 雅代	坂井市 公立幼保園等代表 (雄島こども園 園長)
3	委員	斎野 秀幸	坂井市 副市長
4	委員	井上 純子	坂井市 健康福祉部理事
5	委員	中田 誠一郎	坂井市 教育委員会 教育部長
6	委員	山田 俊行	坂井市 小学校校長会代表 (磯部小学校 校長)
7	委員	木村 美由紀	坂井市子ども・子育て会議委員代表 (民間地域子育て支援拠点施設 福井県民生活協同組合 子育て支援課長)
8	委員	水野 竜太	坂井市子ども・子育て会議委員代表 (わっかこども園保護者会 会長)